広報
ほうじょう

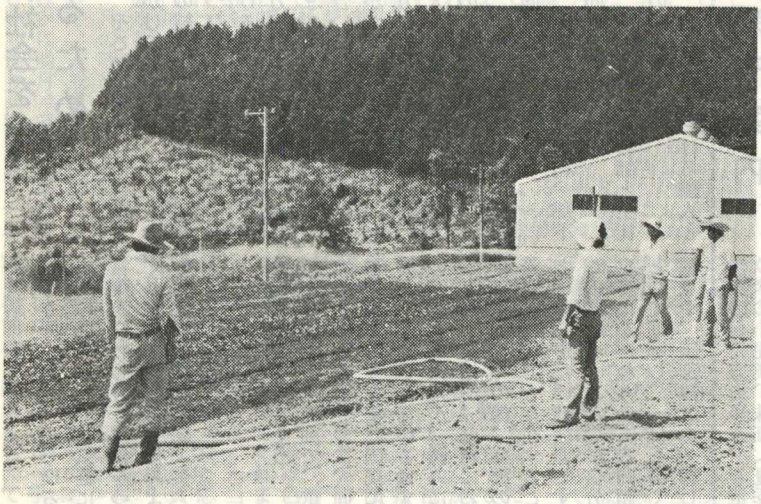
町の人口
（9月1日現在）

人口	7,898人
男	3,793人
女	4,105人
世帯数	2,324戸

農業振興研究班が発足しました

本町農業振興施策の一環としてかねての懸案でありました農業振興研究班が去る七月三日より発足しました。

この研究班は、実践活動を通じて農業生産技術、経営投術等の研究を重ね町内農業の振興を図ることを目的として設置されたものです。



研究班は班員十一名（自主参加二名を含む）を以って構成し一昨年まで県田川農業改良普及所に勤務していた渡辺勲氏の指導のもとに大字伊方字尾崎（長浦入口）の共同作業所、実践農場において午前中農業理論の講義、午後実習と取り組みしています。

農業振興研究班の研究事業としましては、

一、農業技術の取得
二、実践農場による生産作目の研究
三、栽培基準の策定
四、地域農家との有機的結合
五、農家経営診断の実施

等を掲げ三年間を目途に現在農業一般の基礎教育より実施していますが、逐次研究内容等を充実し研究班員が農業理論と実践をマスターし地域農業の振興にあたる予定であります。

青少年の健全育成に子供会活動の果す役割の大きいことは言うまでもありません。ここに方城町子供会リーダーが集い自然に親しみながら互いに意見を交換し融和と親睦につとめ、地域子供会活動を一層充実発展させようとするものです。

この行事も今年で三年目を迎える事になりました。

五十六名が参加
キャンプリーダー研修会（英彦山）

前年度までは中央公民館の中庭にテントを張って一泊キャンプをしていましたが今年は英彦山竜門峡キャンプ村で実施することになり参加者は、小学校五年生以上で、男女合せて五十六名で行いました。

正午、中央公民館に集合受付けの後、一路英彦山めざして出発しました。

午後二時三十分、現地到着の後、班別行動により、夕食の準備そして楽しい夕食へと研修の日程を進めて行きました。全員協力しての後かたずけの次は、キャンドルサービス、レクリエーション、歌等により楽しい一夜を過しました。翌二十三日は、朝食の後、英彦山フィルドサーキットへ行き、真夏の太陽の下元気いっぱいに遊び、最後の日程を終えて一人の落伍者もなく、無事に帰着しました。

（主催、方城町教育委員会
方城町子供育成会
方城町青年団）

9月のこよみ

1日、防災の日、ガン制圧月間
15日、敬老の日、老人福祉週間
17日、十五夜
20日、彼岸入り、航空の日
23日、動物愛護週間
24日、秋分の日、結核予防週間

農業委員決まる
会長に仲村信治氏を選出

新しい農業委員が、七月十四日決まりました。このあと、八月二十四日新しいメンバーによる農業委員会も開かれ、次のとおり役員も決まりました。

（順不同、敬省略）

〔公選による委員〕
▽仲村信治（西古門）＝会長▽太田貢（新町）＝副会長△香月喬（迫）▽高津弘（見六）▽久富貞信（久六）▽松島忠（新門）▽中山嘉蔵（浄万寺）▽池永清隆（中古門）▽石谷猛（野添）▽永末治（上弁城）▽石田一小（東古門）▽光井保夫（三本松）

〔町議会推せんによる委員〕
▽原田勝太郎（丸山）▽高木市松（中古門）▽佃俊美（野添）▽原田政幸（春田）▽西山憲男（後谷）

〔田川農協推せんによる委員〕
▽仲谷松男（東古門）

〔下田川共済組合推せんによる委員〕
▽香月正利（宝珠）

明るく住みよい社会をつくるために

私たちの人権を擁護するために活躍している福岡法務局、及び福岡県人権擁護委員連合会では、自由人権思想の普及高揚を図るため今年は、次の三つの項目を活動の重点目標と定めて、各地で各種の行事等を行っております。

その一つは、

★「人権の共存」―対話によって明るく住みよい社会をつくろう―

でありますが、最近家庭および社会において、お互いに顔を合わせても、言葉を交さない、風潮が強まってきて、他人を疎んずることからお互いの連帯の心も失われつつあります。

そこで、お互いに「話しかけること」が、人と人との結びつきを強め、「話をつなぐこと」が、社会における緊張を緩和する最良の方法であることを思い起しまず朝夕のあいさつが話し合いの場を作り、話し合いがお互いの理解を生み、お互いに理解し合うことが、人権尊重の出発点であるとの考え方のもとに、

家庭における夫婦、親子間の対話。

職場における上司、部下同僚との対話。

学校における教師と生徒の対話。

地域社会における隣人との対話。

等も押し進め、あらゆる生活の場において、気軽に言葉を交わし合う気風をつくりだして、明るく住みよい社会を建設しましょう。というものであり、

その二は

★部落差別をなくそう

でありますが、深刻で、重大な人権問題の一つに、同和問題があります。国民に等しく保障されねばならぬ、基本的人権が、踏みにじられ、結婚や、就職における差別、その他、各種の差別がいまでも存在することは許しがたい社会悪ですこの問題を、みんなが自分自身にかかわりのある問題として理解し、一日も早く偏見や、差別観念を一掃しなければなりません。

というものである。

その三は

★婦人の地位向上

であります。

男女の平等は、憲法にも明記されていますが、わが国の長い歴史のなかで、つくられた考え方や、慣行のなかで、女性という ことが多く残っています。これらの問題を社会全体の力で改め、婦人の地位を高めましょう。

というものであります。

これらの事柄は、われわれの日常生活のなかでの実践を通じて達成されるものでありますので、住民の皆さんの御理解をいただき、明るく住みよい社会が実現できるよう努めていただくようお願いします。

町立図書館新刊案内

今般町立図書館に左の新刊図書を購入しました。町民の皆様の御来館をお待ちして居ます。（著者出版社名省略）

労働基準法、相続贈与遺言の知識、労働基準法百問、借地借家の知識、口語憲法退職金規定の作り方、公害法学入門健康保険法、交通事故の損害と賠償額、女の法律、会社法共済年金のすべて、賃金規則の作り方、部下を燃やすリーダシップ文庫日記、二十一才の父、一九七八推理小説、代表作選集、水、百戦百勝、戦国名将言行録、日本武将列伝馬を売る女、さびしい乞食悲しみの歌、恋愛と結婚、結婚離婚の知識、結婚の本女の一生、女性のすなおさ一二〇章、性＝男と女、女性のための新しいマナー。

細川ガラシャ夫人、この国鉄をどうするか、土俵わが青春、ユダヤ五〇〇〇年の知恵、話術の魅力、わが子ケネディ、飲み水の危機、総理大臣の犯罪、日本人と味の素、ニッポンの警察、金融一〇〇問一〇〇答、80年代＝日本の可能性、経済問題の基礎知識、世界経済の将来、流通経済の手引、エネルギー危機の現状と展望、食糧危機と日本農業の展望、日本農業再生の条件仕事の与え方進め方、ルポ欧米の小売業、株価（夏季報）78、税法講義、反骨商法、漬け物と常備のおかず通園通学通勤家じゅうの愛情べんとう、中世民衆の生活文化、人間と環境、俗物近代、高血圧低血圧の人の食生活、動脈硬化心臓病の人の食生活、肝臓病の人の食生活、糖尿病の人の食生活、リウマチと神経痛、赤ちゃんの病気、クコ健康法家庭看護のコツ、夫婦の医学、囲碁シリーズ初段への近道、囲碁入門、詰将棋、楽しい麻雀入門、日本をダメにした戦後教育、日本の子どもをダメにした学師、女子高校生のための21章、永井道雄の教育の流れを変えよう、落ちこぼれっ子教育法、自信をもって生きる、対話人間の建設、頭の使い方、発明のヒント一三四、発明には定石がある

これが自衛隊だ、小さな恋のものがたり、川釣り入門観葉植物、野菜づくり、家庭大工、家庭園芸、草花園芸、日曜園芸12ヶ月、陶芸入門、九州の電気機関車、有望株の発見法、珠算の学び方、住宅写真双書（浴室洗面、便所）同（台所と食事室）昭和人物伝、大本営の衝撃、園芸植物大観（原色全六冊）日本農書全集（全五冊）日本の文化、地理（全八冊）全国博物館総覧（二十八冊）世界史（全十八冊）世界の博物館（アメリカ歴史技術博物館、ベルリン世界民族博物館、ニューヨーク自然史博物館、ロンドン科学博物館）祭りと芸能の旅（関東中信越、中国、四国、九州沖縄）写真集西郷隆盛伝、九州沖縄の生きものたち、敦煌への道写真で見る太平洋戦争（日本の戦艦、駆逐艦、日本の空母潜水艦、真珠湾攻撃、大和と武蔵、ゼロ戦と隼、神風特攻隊、超空の要塞、壮烈水雷戦隊、等）写真で見るヨーロッパ戦争（空戦ドイツ艦隊、世界の戦車、戦車大決戦）写真で見る百年シリーズ（鉄道百年日本の機関車、自動車百年日本の自動車、飛行機百年日本の飛行機、郵便百年日本の切手の）変身怪人オールル図鑑、世界のスパイ、剣道に強くなる、新世界の怪獣、生態図鑑、機関車鉄道図鑑魚貝生態図鑑食虫植物図鑑漫画サザエさん（十数冊）慶弔見舞文の手引就業規則の作り方尚以上の新刊書の外新たに県図書一〇〇〇冊受入れ皆様の御利用をお待ちしています。

（方城町立図書館）

一緒に俳句を作って楽しみませんか

（日曜俳句会）

どなたでもお気軽においで下さい。

◉日時～毎週日曜日　午後七時半より

◉場所～八幡町　西山ひさし宅

はじめての方大歓迎。会費不要です。

方城町　日曜俳句会

釣船に　瀬戸路の夏を　惜しみけり　西山ひさし

墓掃きに帰り来しとて　立ちよりぬ　西山ひさし

誘われて　踊りの列に　加わりぬ　田沖美樟

月の出を待たず　踊のはじまれり　桑野園女

石庭の　松より上り　盆の月　桑野園女

帰省子の　亦たくましくなりしこと　鈴木秋風子

炭坑節だけは　踊れて　輪に入りし　鈴木秋風子

倶会一処　信じて墓を　洗ひけり　さくらん坊

あたふたと来て盆僧の　経短か　さくらん坊

岩屋のキンモクセイ文化財の指定解除

弁城岩屋神社境内にあるキンモクセイは福岡県指定天然記念物として町民の皆様に永く親しまれ愛されてきましたが、三、四年前頃より白蟻の被害を受けて樹勢の衰えがひどくなり県文化課の指導を受け、駆虫その他樹勢の回復に努めてきましたが効果思わしくなく現在全葉落ち殆んど枯死の状態となりました。先般県文化課より専門技師来町詳しく調査が行われましたが枯死と認定され去る六月文化財指定の解除を受けましたので町民の皆様にお知らせ致します。

（方城町教育委員会）

季節の話題

『十五夜』

徒然草に「秋の月は、限りなくめでたきものなり、いつとても月はかくこそあれと、思い分からざらん人は、無下に心うかるべき事なり」とあります。むかしから「秋の月はさやけきを賞で、春の月はおぼろなるを賞づ」といわれているように、月のさやけさ、清さは秋がいちばんです。「月々に月見る月は多けれど月見る月はこの月の月」とか毎年このころに出る満月を仲秋の名月とよんでいる。

「十五夜」です。

十五夜というのは、旧暦八月十五日の夜のことで、一年じゅうでこの夜の月がいちばんきれいに美しく見えるとされています。ことしは仲秋にふさわしく、名月が見られますかどうか、この夜の空模様が気になります。晴れていればぽっかりとボンのようなまん丸います。ふだん見なれた小さな星は、どこにかくれてしまったのか月の光に圧倒されて、そこらへんには見えません。

都会の夜空は、ネオン灯や照明の照り返しで天体の姿をぼけてしまい、星や月も見えないことのほうが多いって、十五夜の月は名月のほかに明月、望月、芋名月といったり、掛け算で「三五夜」ともいいます。この夜、空が曇って見えなければ「無月」。雨が降ったら「雨月」といい、翌日の夜満月より少し遅れて出てくるのを十六夜（いざよい）以後、立待月、居待月、寝待月、臥待月、更待月、などとつづきます。

私の歩いた道

第五回　末松　栄

長い夏休みも終って二学期が始まり、私も学校に行きました。其の頃、私の部落付近でバクチが流行しており、学校から帰って見ると座敷でひそひそ七、八人位集り合ってサイコロを投げている事が度々ありました。それも寺銭と云って三回続けて勝った人は、五銭拾銭と私方にくれるのをよい事にしてバクチ宿をしていた様でした。

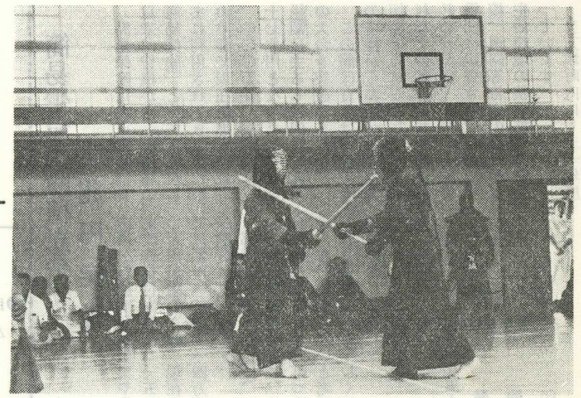
ある日、学校から帰ったら例のとおり座敷でやっておりました。私はなみだがとめどなく流れ、大声で泣きだしました。わずか五拾銭たらずのお金に迷って法律違反のバクチ宿をするのが情けなくて、家に入らずに泣き続けました。母は色々と私をなぐさめてくれました。今から思えば、本当に情けない時代だったと思います。またその頃に遠賀川改修工事が行われておりました。今の様な機械力はありません。人の力によって土を堤防に担い上げておりました。父はある日「学校を午前中で暇をもらってくるのを十六夜（いざよい）以後、立待月、居待月、寝待月、臥待月、更待月、などとつづきます。

「雨月」といい、翌日の夜満月より少し遅れて出てくる。

長い夏休みも終って二学期が始まり、私も学校に行きました。其の頃、私の部落付近でバクチが流行しており、学校から帰って見ると座敷でひそひそ七、八人位集り合ってサイコロを投げている事が度々ありました。それも寺銭と云って三回続けて勝った人は、五銭拾銭と私方にくれるのをよい事にしてバクチ宿をしていた様でした。

ある日、学校から帰ったら例のとおり座敷でやっておりました。私はなみだがとめどなく流れ、大声で泣きだしました。わずか五拾銭たらずのお金に迷って法律違反のバクチ宿をするのが情けなくて、家に入らずに泣き続けました。母は色々と私をなぐさめてくれました。今から思えば、本当に情けない時代だったと思います。またその頃に遠賀川改修工事が行われておりました。今の様な機械力はありません。人の力によって土を堤防に担い上げておりました。父はある日「学校を午前中で暇をもらってくる」と言いました。父母は大変よろこんでくれました。近所のあるおじさんは、そんな硯箱位なら家で買ってやるといった人もありました。私は子供心に何だか淋しいような気持ちがしました。

それからの私の生活は毎日薪木取りや草切等で余り遊ぶ暇もありませんでした。それでも滝三君寅義君、年夫君、佐吉君勘治君等五六名のいたずら盛りの友達と戦争ごっこ、こま廻し等それはそれは大変面白い時代だったと思いおこす事が多い物です。



8月郡体で優勝（写真左が田島靖三段）

剣道教室

方城町剣友会員は、事務局長光井玄吉五段を中心に16名（有段者12名）です。有段者のほとんどが県体出場経験者で、郡体では優勝二位等一時は方城に迫いつけ追い越せと近隣町村に云わせた程です。又町少年剣道教室では岩崎秋信教士六段が小、中学生33名の指導に当たり、未来の剣豪が黄色い声を張り上げながら汗を流しています。剣道は歴史と伝統に支えられ受け継がれた心身の鍛練法です。ものもしい姿で闘争本能むき出しの練習を見て驚きとつつきにくいスポーツだと云う人もいますが、練習後のそう快さは、竹刀を握ったことのない人には理解しかないかもしれません。できし剣道の良さは、老若男女を問わずできるものです。経験者はもちろん竹刀を握った事のない人も、一度道場を訪いて見ませんか

「行事」対外試合―一般年2回、少年剣道教室年2回

町内剣道大会…10月実施

全日本剣道連盟昇段審査

年二回初～三段―二、八月（本年度8月27日）四～五段―三、八月（本年度8月6日）六段以上五、十一月

「練習日」毎週月、水、金曜日、一般…五時半～七時

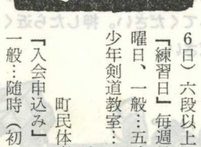
少年剣道教室…四時半～五時半

町民体育館にて、

「入会申込み」

一般…随時（初心者歓迎）

方城町剣友会員は、事務局長光井玄吉五段を中心に16名（有段者12名）です。有段者のほとんどが県体出場経験者で、郡体では優勝は一応締切りました。



お知らせ

10月1日の第七回住宅統計調査にご協力を

我が国の住宅の事情は、年々改善され、住宅の規模も次第に大きくなり、一人当たりの畳数も増加してきています。

しかし、都市圏では今もなお人口の集中が続いており、核家族化による世帯数の増加や高い地価などとあいまって住宅の問題は依然として多くの人々にとって切実なものとなっています。

また、日照時間や公共施設など住宅をとりまく環境にもいろ〳〵な問題があります。更に全国的にみて、住宅の数は世帯の数を上回り、量的には一世帯一住宅となり、住宅不足の事情は一応緩和されましたが、世帯人員と比べた住宅の広さや住宅の設備など、いわゆる質の面ではまだ必ずしも十分でなく、これをどのように向上させていくかは、将来にわたる国民生活の重要な課題となっています。

今回の住宅統計調査は、このような住宅の現状と推移をとらえ、住宅建設5箇年計画などの施策の立案に不可欠な資料を提供するため、本年10月1日全国的な規模で行われます。この調査は統計法に基づく指定統計として昭和23年以来5年ごとに実施されてきたもので、7回目に当たる今回の調査では、全国の約500万の住宅、世帯を対象として、従来から調べてきた住宅の構造、規模、設備、持ち家、借家の別、家賃、間代、新築、増築などの状況敷地、世帯主の年齢・就業の形態・通勤時間・住居の移動、世帯人員と居住室の使用状況、住宅の環境などに加えて、新たに居住水準をみるための世帯員の男女年齢別構成のほか、従前の居住地及びその居住状況、住宅取得の状況、敷地取得の相手方などについても調べることになっています。

この調査では、都道府県知事の任命を受けた調査員が、9月24日から受持ち地域内の各世帯を訪問し、調査票を配ってその記入を依頼して、取り集めますが、その量は大型トラックで13台分にものぼります。

この調査の結果については、11表の統計表が作成され、全国集計、都道府県別集計、人口5万以上の市別集計、10大都市の区別集計、8都市圏別集計など量的にも一層の充実が図られるとともに、東京・大阪・名古屋を中心とする3大都市圏の距離帯別集計も行われます。

この集計は総理府統計局で電子計算機によって行われます。

集計された結果は2万ページに近い報告書として昭和54年夏頃から逐次刊行され、国や地方公共団体の住宅関連諸施策の基礎資料として利用されます。そのほか、図書館や研究機関にも配布され、一般の方々の利用に供されます。

「農業者年金への加入のお知らせ」

農業者年金制度ができて七年余り経過しましたが、この年金制度は農業者のためにできた制度であることはいうまでもなく、農業者以外の方が加入しようとしても加入できませんが、なかには農業をされ、その加入資格がありながら未だ年金に加入されていない方がずいぶんおられるようですが、〝貴方の家庭にそうした方はおられませんか。〟

この年金に加入するには国民年金加入者で年齢的な要件を満たし、農地の一定面積をもって耕作されている方ですが、一農家に一経営主か或いは後継者等の未加入者がおられゝば加入されるようお知らせします。

また、今回年金法の改正がおこなわれ、その目玉として「時効保険料の救済制度」が設けられました。この制度は、四十六年当時から農業者年金の加入資格があって加入するのを忘れていたり、或いは加入していても保険料を滞納したため年金を受けられない人等が保険料を納めることによって将来、年金が受けられることができるようになった訳です。

つまり、高齢者の方（大正五年〜昭和十二年生まれの者）で、当然加入資格がありながら加入されていない方を〝もう一度救済する〟というものですから、こうした未加入者についても、この時機（昭和五十三年七月一日から五十四年十二月末日まで）をみのがさず早急に加入されることをおすすめします。

なお、この制度が適用される方は次のとおりですが詳しいことは農業委員会事務局または農協までお尋ね下さい。

記

一、大正五年一月二日以降の生まれの者で二、三の要件を満たしている者

二、国民年金に加入している者

三、農地所有面積が五〇アール以上の者

（自作地及び小作地を含む農地の所有面積が五〇アール以上の者）

簡易生命保険積立金十兆円突破

簡易保険は大正五年創業以来、皆様から「郵便局の簡易保険」として広く親しまれ利用されてきましたがお陰様で現在総加入件数五、〇〇〇万件、契約高は三十七兆円となりまた、資金総額は去る七月四日十兆円の大台を突破しました。

この簡保資金は、加入者の皆様からお預かりした大切な信託財産として、市町村などの地方公共団体をはじめ、公団、公庫など政府機関に融資され、住宅や学校、道路等皆様の身近かな生活環境の整備拡充に役立っています。

当方城町内にも五十年度中に公営住宅建設事業や住宅改修貸付事業に二一五五〇万円が融資され、現在までに累計一三四六一四万円が融資されています。

郵便局としましては、この十兆円突破を契機に、さらに豊かな住みよい町づくりにお役に立ちたいと考えておりますからよろしくお願いいたします。

金田郵便局

香典返し ありがとうございました

次の方々から方城町長寿会に高額な香典返しを受けましたので、長寿会の運営に有意義につかわせていただきます。

方城町長寿会連合会

会長　荒川　豊八

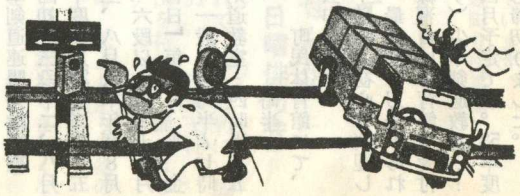
犬星　桑野　禄郎
東古門　高松　敬一
見六　永末　次男
矢久保　田島　靖
後谷　池本ミスエ

もし、踏切で動けなくなったら!!

◎自動車を出すよりまず列車をとめる手配をしましょう

△踏切非常ボタンを押しましょう。

単線区間の一部と、複線区間の警報機のある踏切には、踏切非常ボタンが付いていますので、ボタンを強く押してください。押したら近くの駅へ必ず連絡してください。



広報ほうじよう（100号）
昭和五十三年九月一日発行
発行　方城町役場
編集　企画室
印刷　協和印刷